

公開実用 昭和57—136105



実用新案登録願

昭和56年02月21日通

(4000円) 特許庁長官 島田春樹 殿

1. 考案の名称
ショウメイキグ
照明器具

2. 考案者
カフサキ サイワイ ホリカワ
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
トウシバデンザイ ホリカワ シンヨウジヨウサイ
東芝電材株式会社堀川町事業場内
シ 清 ミズ 水 ツ 幸 ジ 治

3. 実用新案登録出願人

シバウラ
東京都港区芝浦1丁目1番43号
トウ シバ デン ザイ
375 東芝電材株式会社
代表者 佐藤大六

4. 代理人

〒160 東京都新宿区新宿4丁目3番22号(安藤ビル)
6276 弁理士 樺 澤 襄 (ほか2名)
電話 東京 352-1661(代)



方式
審査



56 023599

明 細 書

1. 考案の名称

照明器具

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) ランプと筒状をなし上記ランプを覆う光拡散性のグローブとを具備し、上記グローブは上記ランプと近接する部分を肉厚に形成し、遠ざかるに従つて肉薄に形成したことを特徴とする照明器具。

3. 考案の詳細な説明

本考案は照明器具に係り、特にランプを囲周する照明用グローブに関する。

従来、照明用のグローブはガラスなどにて形成した透明体の内面に、セラミツクまたは樹脂塗料などを塗布し一様の厚さに拡散膜を形成させ、グ

(1)

/361.2

公開実用 昭和57—136105

中
心
部
分

ローブの内部に位置するランプの光を拡散する構造となつてゐる。しかしながら、この構造ではランプ中心からグローブ面までの距離が異なり照度が異なるため、グローブ全体が一様な明るさとはならず、ランプに近い位置は明るく、遠い位置は暗くなり、このため光がグローブにより一様に拡散されないという欠点があつた。

本考案は上記欠点に鑑みなされたもので、グローブ全体を一様な明るさとし、グローブにより光が一様に拡散できるようにした照明器具を提供するものである。

次に本考案の一実施例の構造を図面について説明する。

(1)は家屋の天井面(2)などに取付けられ電源線に接続された電球用ソケットである。(3)はグローブ

(2)

用ソケットで前記電球用ソケット(1)を囲周して天井面(2)に取付けられている。

(4)は照明用グローブで、電球用ソケット(1)に取付けられたランプとしての電球(5)を囲周し、周知の手段にてグローブ用ソケット(3)に取付けられている。このグローブ(4)は筒状に成形された透明ガラス(6)にて形成され、この透明ガラス(6)の内面にはセラミツクまたは樹脂塗料などからなる乳白色の拡散膜(7)が塗装などの手段にて塗布されている。この拡散膜(7)は電球(5)から近い位置は肉厚に、遠ざかるにつれて徐々に肉薄になっている。

次にこの実施例の作用を説明する。

電球(5)の光はグローブ(4)の拡散膜(7)にて拡散されるが、この際、電球(5)から近い位置では拡散膜(7)が厚いため、拡散膜(7)内での乱反射が多くなり、

公開実用 昭和57—136105

特
許
公
報

光の拡散率が大きくなりかつ透過率が小さくなり、
電球(5)から遠ざかるにつれて拡散膜(7)が徐々に薄
くなるため、乱反射が少なくなり、拡散率は小さ
くなりかつ透過率が大きくなるため、グローブ(4)
の表面の明るさは一様となる。

なお、前記実施例においてはグローブ(4)を透明
ガラス(6)の内面に拡散膜(7)を塗布した構造とした
が、乳白色のガラスにて形成することもある。
この場合はガラスの厚さをランプの近傍では肉厚
に、遠ざかるにつれて徐々に肉薄に形成すればよ
い。

本考案によれば、グローブの表面の明るさが一
様となり、光が一様に拡散できるものである。

4 図面の簡単な説明

図1図は本考案の照明器具の断面図、図2図は

(4)

特
許
登
録

同上グローブの拡大断面図である。

(4) ・ ・ グローブ、(5) ・ ・ ランプとしての電球。

昭和56年2月21日

考 案 者 清 水 幸 治

実用新案登録
出 願 人 東 芝 電 材 株 式 会 社

代 理 人 榊 沢

特許
審判
部
印

同 榊 沢

特許
審判
部
印

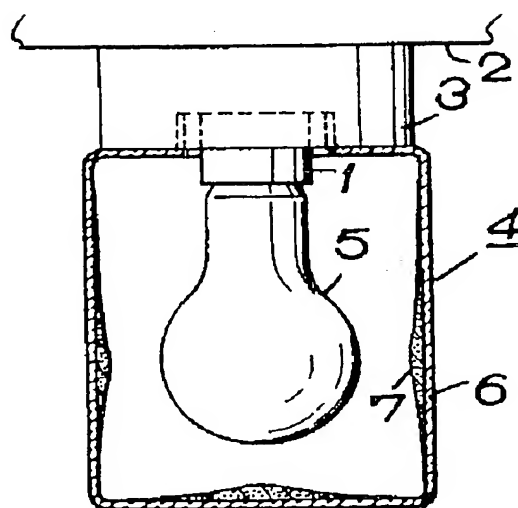
同 島 宗 正

特許
審判
部
印

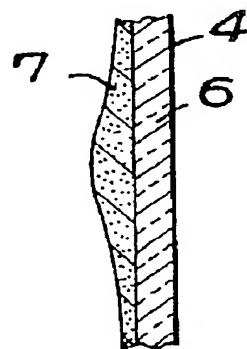
(5)

公開実用 昭和57—136105

第 1 図



第 2 図



136105

東京電機株式会社
代理人 澤 真 外2名
監理

新
刊
本

5. 添 付 書 類 の 目 録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 委 任 状 | 1 通 |
| (4) 願 書 副 本 | 1 通 |

6. 前記以外の代理人

(3) 代 理 人

〒160 東京都新宿区新宿4丁目3番22号 (安藤ビル)

6366 弁 理 士 樺 澤

同 所

8468 弁 理 士 島 宗 正

停
印
理
士

見
印
理
士

135/100-